

新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な備品等の設置を支援

対象事業者

府内の路線バス事業者、タクシー事業者 ※地方公共団体が出資する法人や公営企業は対象外

補助対象経費

- 1 車両内において感染症拡大を防止するための備品・設備
運転席と運転席以外の座席を隔離する仕切り、サーモグラフィー、車両内抗菌処理、CO2モニター、高性能空気清浄機、低オゾン発生装置、自動消毒液噴霧器
- 2 キャッシュレス化に必要な設備
QRコードリーダー、バーコードリーダー、ICリーダー、モニター、Wi-Fiなどの設備一式

補助額

・ 補助上限額 バス：20万円/台、タクシー：4万円/台
※国または市町村の補助を受けたものは補助対象外

申請状況

申請期間：令和3年11月2日～令和3年12月28日

事業者区分	申請件数	申請車両台数
バス事業者	19件	1,856台
タクシー事業者	374件	10,277台
合計	393件	12,133台



高性能空気清浄機

出典：国土交通省ウェブサイト
(<https://www.mlit.go.jp/common/001394898.pdf>)
参考資料を加工して作成



QRコード決済

出典：国土交通省ウェブサイト
(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001351876.pdf>) 添付資料・別紙を加工して作成

令和4年度：ユニバーサルデザインタクシー普及促進事業

万博開催までの令和6年度末までに、府内タクシー総台数の約25%をユニバーサルデザインタクシーとすることを目標に、ユニバーサルデザインタクシーの普及促進を図る

対象事業者

府内においてUDタクシー車両を導入する事業者

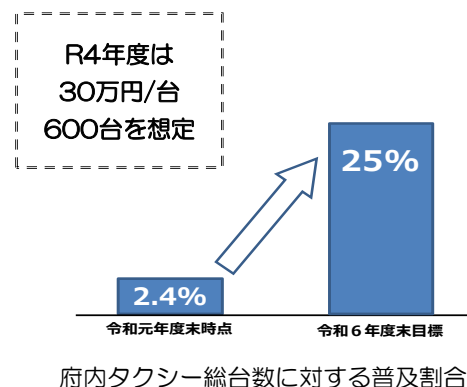
補助額

・ 補助上限額 **30万円/台**

※国の補助を受けたものは補助対象外



ユニバーサルデザインタクシー
(出典：国土交通省HP)



ユニバーサルデザインタクシーとは・・・

車いす使用者に限らず、足腰の弱い高齢者、妊娠中の女性、ベビーカー使用者なども含め、みんなが使いやすいタクシーです。予約制の福祉限定による利用に限らず、街中で呼び止めて誰もが気軽に利用できます。

(国土交通省ホームページより)

国の補助を受けた車両は補助対象外としているが、**市町村補助との併用可能！**

混雑を回避した移動や、ウイズコロナ・ポストコロナにおける新たなニーズに対応するとともに、万博開催に向け、府民・来阪者の移動の利便性を向上させるMaaSの取組を強力に進めるため、交通事業者のキャッシュレス化、データの共通化の取組を促進

概要

1 鉄道事業者等のキャッシュレス化を促進するため、QRコードやクレジットカードのタッチ決済や生体認証システム等の導入や実証実験に対して補助金を交付



キャッシュレス化
(出典：国土交通省HP)

2 バス事業者における時刻表、運賃、運行などの情報を共通データ化するためのシステム整備に対して補助金を交付



共通データ化のイメージ
(出典：国土交通省HP)

MaaS（マース：Mobility as a Service）とは・・・
スマホアプリ又はwebサービスにより、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。
新たな移動手段（AIオンデマンド交通、シェアサイクル等）や関連サービス（観光チケットの購入等）も組み合わせることが可能。

(国土交通白書より)